



たもんじ交流農園 便り

Vol.5 2018年8月号

“たもんじ交流農園便り”は、農園であったいろんなこと、これから予定しているイベントや講演会、農園仲間の人となり等、たもんじ交流農園に関する様々な情報を、会員の皆様にお伝えする情報誌です。



たもんじ交流農園事業は、平成30年度すみだの夢応援助成事業に決定致しました。



7/29 講演会「江戸東京野菜初級編」開講。

江戸東京・伝統野菜研究会代表の大竹道茂氏による講演会「江戸東京野菜初級編」が7月29日(日)多聞寺寺務所にて行われました。かつて徳川家康が江戸の都市づくりを始めた頃、急激な人口増加で新鮮な野菜が不足したため、尾張や関西から呼び寄せた農民たちに野菜を作らせ、また参勤交代によって江戸に集められた地方大名も、国元から野菜を持ち込み栽培を始めた。こうして全国の野菜の種が江戸に集まり、江戸の気候や風土に合った野菜だけが固定種として残ったことを、様々なエピソードを交えながらお話し頂きました。



しかし固定種の野菜は大きさや形に個体差があったため、形も揃い出荷しやすく品種改良されたものが市場に出回り、昭和60年頃には激減してしまったそうです。そこで「江戸東京野菜」がなくなってしまうと危機感を募らせた大竹氏は農家を回って種を探したり、「江戸東京野菜」の本を刊行したりと復活・普及にご尽力なさっています。



「寺島なす」も大竹先生始め、多くの方のご尽力により復活し、てらたま協議会と地域との繋がりも確実に深くなってきました。たもんじ交流農園を多くの方たちと手作りし、農地のない墨田区に畑ができあがるのも夢ではなくなりました。ゆくゆくは「寺島なす」を墨田区役所の食堂で特別メニューとして区民の方たちにも味わって頂きたいものですね。(阿久澤記)

8/5 夏野菜の収穫祭&ピザ焼きパーティ開催!!

夏真っ盛りの8月5日(日)、たもんじ交流農園で行われた「夏野菜の収穫祭&ピザ焼きパーティー」に参加致しました。私は協議会の区画のお手伝いをさせていただいているので、当日は参加された皆さんの収穫されるところを見守っていました。寺島なす、島オクラ、カラーピーマン、小松菜、トウモロコシ等々…大人も子供も「あったー!」「これも取って良いのー?」みんな夢中に収穫を楽しんでくれて、本当に良かったです!本当は収穫祭に向けて、きゅうりやトマトも育てていたのですが、今年の猛暑の影響か、早く育ってしまい収穫が終わってしまっていたり、トマトは虫がびっしり着いてしまったり…他にも病気など昨日に至るまでにはたくさんのトラブルがあり、無農薬で野菜を育てる事の難しさを知りました。これからは、そんな事も伝えていければなぁと感じています。

ピザパーティーは今回も大盛況!かき氷もトマト味や梅シロップなど本当に美味しかったです!今回は今回取れたトウモロコシでポップコーンを作る予定とか(やったー)またお友達を誘って参加します!ちなみに…次の日素麺を食べながら…流し素麺もあったら楽しいかもと思いました(笑)。(高尾記)



農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 1-1・2

日本リ・ファッション協会の皆さん



① 一般社団法人日本リ・ファッション協会（2009年設立）の代表理事をしている鈴木純子です。私は、誰もが自分らしく輝き、公平平等に幸せに生きられる社会を本気で目指して活動をしています。そのために持続可能な循環型社会の実現に向けて、一人一人が生活スタイルを変えるきっかけ作りとしてイベントやワークショップをコツコツ開催しています。畑はその活動のひとつです。

② 「農と衣」のつながりを感じる場を作るために、コットンと藍染めの藍を中心に育てています。食も大事なので、イチゴやトマトやかぼちゃも育てています。

③ (1) 収穫祭。お互いに収穫したものを食べたり種を交換したり、栽培方法や収穫したものをどんな風に使うかの情報交換をする。そしてお互いを褒めあう！

(2) 「農と衣」イベント。収穫したコットンと藍を使って、モノづくりや染色のワークショップを企画しています。大人はもちろん、地域の子どもたちにも楽しい学びの場を提供したいと考えています。

④ 自分の手を使って心をかけて育てる喜びを感じ、実りを収穫し、更に種を得るありがたい畑。種から翌年もまた恵みを得る。循環型社会の柱がここで体験できることが本当にありがたいです。この素晴らしい体験をする機会を一人でも多くの方にシェアしていきたいです。

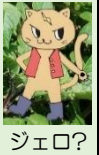


ミシェルさんと鈴木さん

農園キャラクターNo.4
ミケ・ラン
・ジェロ



ミケ：三毛猫、ミケ姉さんと呼ばれている。ラン：トラ猫、走るのが速いのでラン。ジェロ：とつともふくよかなデブ猫ちゃん(ある時は右の絵の様なズル賢い猫として書かれるが実際は左の絵のような気のいい猫のようです(謎ですが))。ジェロ？



てらたま協議会よりのお知らせ

今年も浸かれます!? 「江戸に浸かる。」は9/29(土)30(日)!!



「江戸に浸かる。」は今年で3回目を迎える地域のイベントです。きっかけは、葛飾北斎の生きた江戸をモチーフにかつての中学校をお江戸にしちゃおう！から始まりました。子どもは元気に昔遊び、提灯が灯る屋台で食らい、みんなで奏で、気分も躍る、自らも魅せる。世代を超えてみんなで楽しめる江戸文化の祭典なのです。今年は「～踊る・魅せる・感じる～あなたに夢。」をテーマに、去年盛り上がった寺島なすを聖火に見立て町内を巡る「青果リレー」で幕開き！江戸時代の娯楽や江戸食などの屋台が立ち並び、場内は江戸通貨の文に換金、着物を着て楽しめます。子供達は広い場所でワイワイ元気に昔遊び。そして今年は、江戸の盆踊りをみんなで楽しく踊ってしまいます。時代も世代も超えたお江戸の祭り。9月最後の土日を無邪気にみんなで楽しく躍動しちゃいましょう。(中西記)

たもんじ交流農園!第二期開発 6 区画!! 耕作者募集開始!!!

今期開発中6畝のうち10月完成予定の3畝6区画の耕作者を募集致します(定員超の場合抽選)。

対象：たもんじ交流農園を創設し、江戸野菜を復活させるという当協議会の理念に賛同頂ける方他

耕作期間：2018年11月～2020年3月(1年5ヵ月)、農園会費：5,000円/月/約11㎡

応募方法：①お名前、②ご住所、③電話番号、④メールアドレス、⑤自己PR(適宜)を書いて

メール teratama.machidukuri@gmail.com ないし玉ノ井カフェまで、応募締切：10月20日



たもんじ交流農園便り
No.5-般 2018.8.20 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之

てらたま協議会 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)

<http://www.teratamakyougikai.org/diary2.html>

問い合わせ先 小川 剛 (090-3412-3115)

セブン・イレブン記念財団



「たもんじ交流農園便り」は、セブン・イレブン記念財団から頂いた環境市民活動助成金を使用しています。